

【土木用語の解説】

2-1

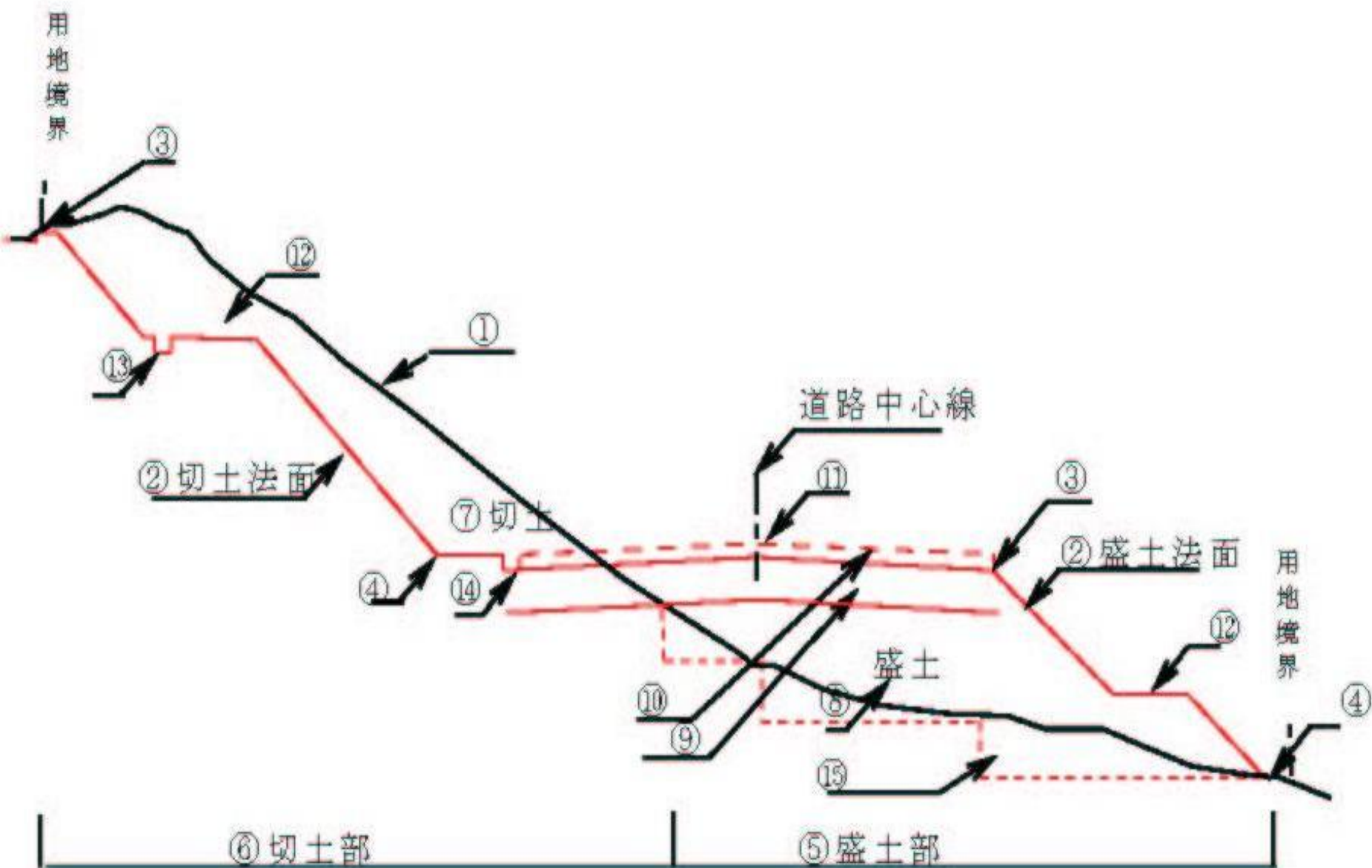
【はじめに】

どの業界でも、その業界の人だけに分かる言葉があり、また、その現場では現場の人にだけ分かる言葉があります。土木の現場もその例外ではありません。

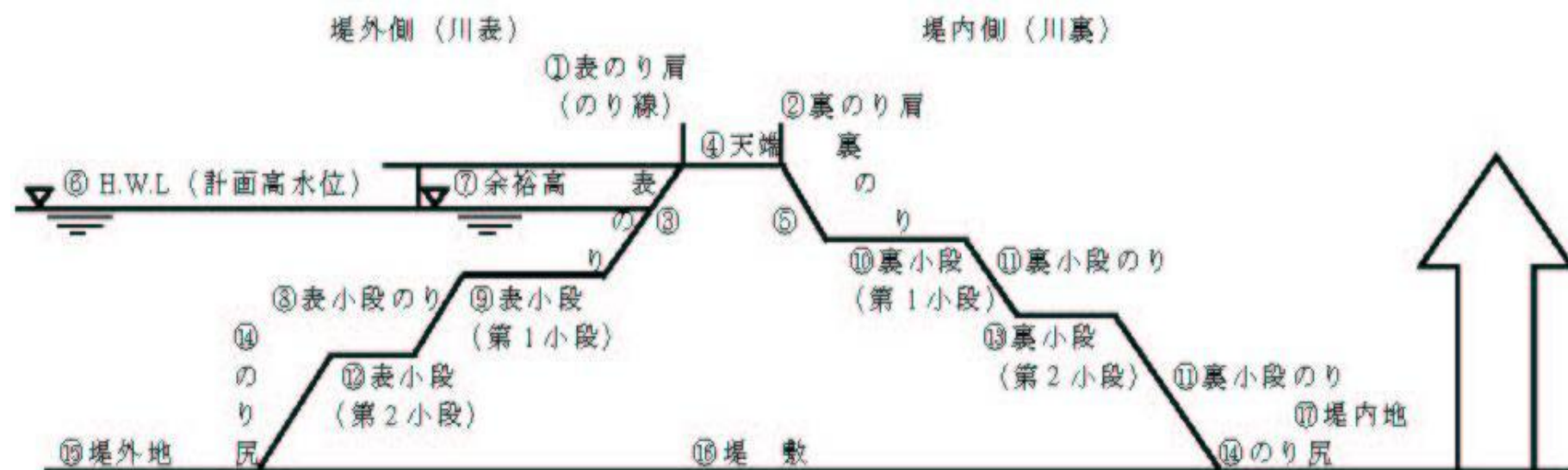
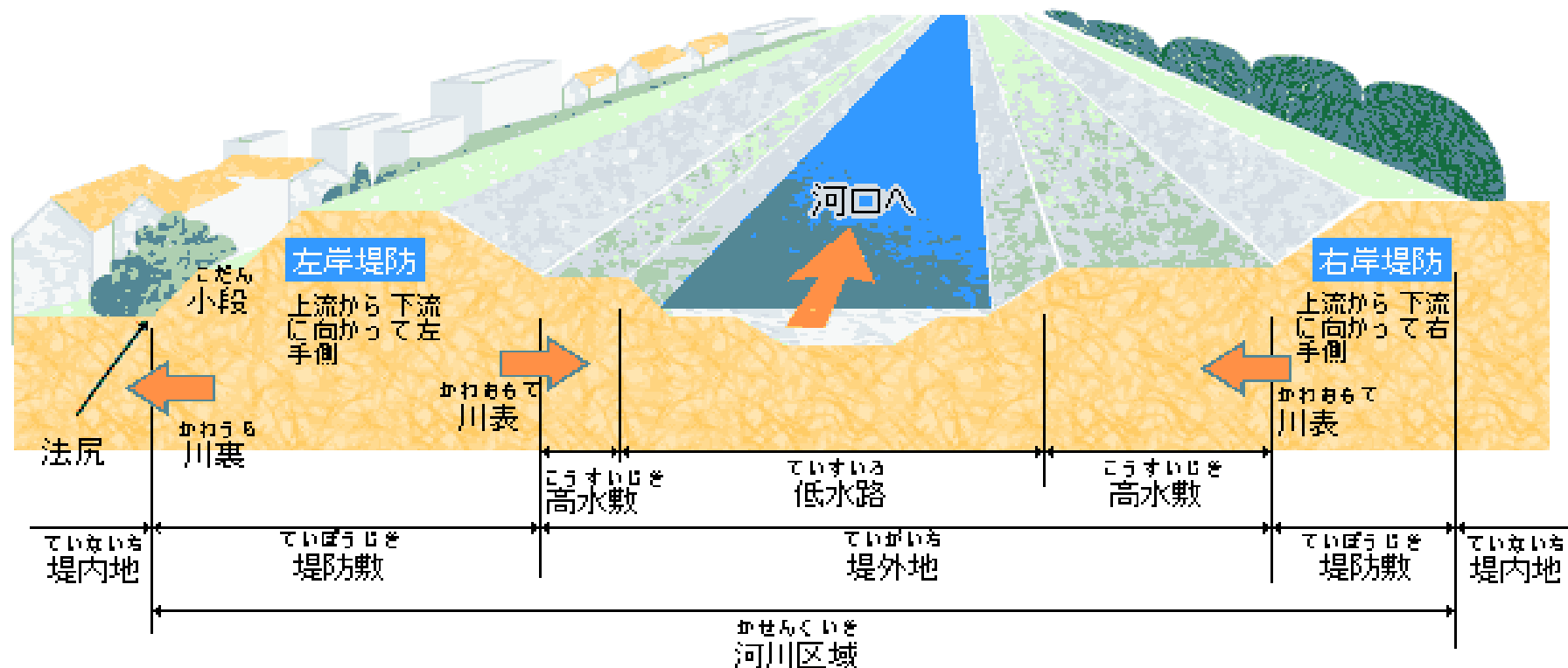
まず、現場の雰囲気慣れるために、言葉に慣れるようにしましょう。

新人や部外者は言葉の理解に戸惑うこともよくあります。そんな場合に、生半可に分かったような振りをしていると、とんでもない過ちを犯したり、危険を生じたりすることがあります。

これから皆さんは現場で受け答えをするケースが多々でてきますので、解らない言葉があればきちんと理解して受け答えするように努めていくようにして下さい。



番 号	説 明
① 原地盤	工事を行う前の現況の地盤のこと。
② 法面	盛土、切土工によって形成された土の斜面をそれぞれ盛土法面及び切土法面といい、法面の浸食や風化を防止するために行う植生や構造物による法面被覆などを法面保護工という。
③ 法肩	法面の最上部の端
④ 法尻	法面の最下部の端
⑤ 盛土部	路床面が原地盤より高いため原地盤上に土を盛り立てて構造した道路の部分をいう。
⑥ 切土部	路床面が原地盤より低いため原地盤を切り下げて構造した道路の部分をいう。
⑦ 切土	切土部において原地盤から路床下面までの掘削した部分を切土という。
⑧ 盛土（路体）	盛土部において原地盤から路床下面までの土を盛り立てた部分を盛土という。盛土における路床以外の土の部分を路体という。
⑨ 路床	舗装の厚さを決定する基礎となる。舗装より下の土の部分で、ほぼ均質的な厚さ 1 m の層をいう。
⑩ 舗装	表層と路盤のこと。表層とは舗装の最上部にあり、交通の安全性、快適性を確保するもの。路盤とは表層に均一的な支持基盤を与えるとともに、上層から伝えられた力を分散して路床に伝達するもの。
⑪ 中央分離帯	往復の交通流を分散することにより、対向車線への進入を防ぎ重大な事故を防止する。また、Ｕターンなど、交通流の妨げとなる行為を防止し安全性を高める。
⑫ 小段	法面の崩れ防止及び維持管理のために、法面の中間に設けた水平の段のこと。
⑬ 小段排水路	法面に降った雨を排水し、法面の浸食を防ぐもの。
⑭ 道路側溝	道路の表面及び法面から流れる水を集め、舗装面に水が溜まらないようにするもの。
⑮ 段切り	旧地盤の斜面が 1 : 4 より急な勾配に盛土を行う場合は、盛土を原地盤に食い込ませて密着をはかり滑動を防止するもの。



番 号	説 明
① 表のり肩 (のり線)	「のり」とは堤防の法面の略で、堤防の上から見て、川側ののり面の最上部を表のり肩という。
② 裏のり肩	堤防の上から見て、市街地側ののり面の最上部を裏のり肩という。
③ 表のり	堤防の上から見て、川側ののり面を表のりという。
④ 天端	堤防の最上部（河川の管理道路として利用することが多い）
⑤ 裏のり	堤防の上から見て、市街地側ののり面を裏のりという。
⑥ HWL (計画高水位)	計画高水位は、計画高水流量が河川改修後の河道断面（計画断面）を流下するときの水位です。実際の河川水位が計画高水位を多少超えただけなら、堤防の高さには余裕があるのですぐに堤防からあふれ出すことはありません。
⑦ 余裕高	堤防の高さと計画高水位の間にとっている余裕の高さのこと。この余裕は、洪水時の安全確保、風浪・うねり等の計画高水位には考慮されていない水位上昇に対して堤防の安全を確保するためのものです。
⑧ 表小段のり	堤防の上から見て川側の小段下ののり面をいう。
⑨ 表小段 (第1小段)	堤防の堤外地側に面した部分でのり面上段の平らな部分をいう。
⑩ 裏小段 (第1小段)	堤防の堤内地側に面した部分でのり面上段の平らな部分をいう。
⑪ 裏小段のり	堤防の上から見て、市街地側の小段下ののり面をいう。
⑫ 表小段 (第2小段)	堤防の堤外地側に面した部分で二段目ののり面下段の平らな部分をいう。
⑬ 裏小段 (第2小段)	堤防の堤内地側に面した部分で二段目ののり面下段の平らな部分をいう。
⑭ のり尻	法面の最下端のこと。（法先）
⑮ 堤外地	堤防より川側、河川敷や水の流れる部分のこと。
⑯ 堤敷	堤防の基礎岩盤部分に接している幅。
⑰ 堤内地	堤防によって洪水氾濫から守られている住居や農地のある側を堤内地という。

【土木独自の用語について】

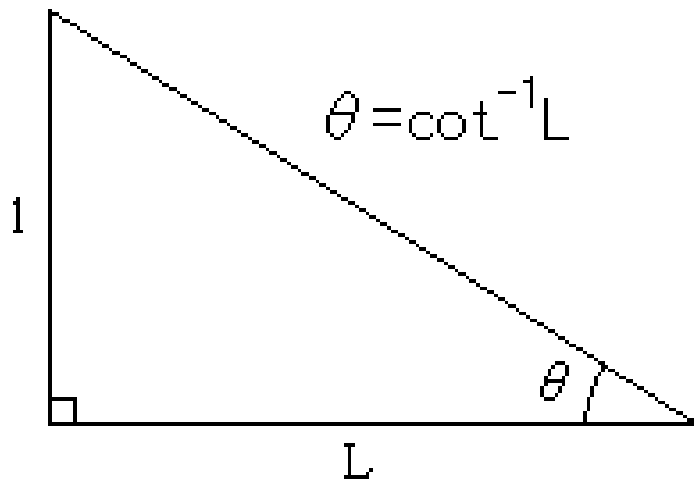
土木に携わっている人がよく使う、意味がわからない用語があります。

様々な分野であるのですが、ここで説明するのは土木の業種内でしか通用しない隠語のことで、一般には理解されにくい言葉と言えます。

初めて土木に接する人がまず最初に戸惑うのが用語だと思います。専門用語でしたら、土木用語辞典など専門分野の辞書に載っていますが、独自の用語は公式にはどの本にも載っていないのが普通なので、簡単に解説したいと思います。

一部を以下に列挙します。

傾斜の呼称



法面（のりめん）など傾斜の勾配（傾斜角）は、一般社会では水平面から測った角度で表しますが、業界では左図のように高さ（高さ）と水平距離（水平距離）の比で示します。そして、1 : 0.5だと5分（ぶ）、1 : 0.8だと8分、1 : 1.5だと1割5分などと呼びます。普通0.8は8割ですから、間違わないよう注意して下さい。なお、5分は約63度、8分は約51度、1割5分は約34度に相当します。

転び

勾配、傾きのこと。

45°（1：1）の傾きを1割ころび（勾配）、その半分の5分ころび（勾配）、と呼んでいる。

直

勾配、傾きが垂直のこと。

90° 直角のこと。使用例：地山が直に立っている。

（地山の法面が垂直に切り立っている。の意味）

平米（へいべい）

面積の単位の平方メートル（m²）のこと。

使用例：1, 000平米（へいべい）の舗装を行うこと。

立米（りゅうべい）

体積の単位の立方メートル（m³）のこと。

使用例：コンクリートを1, 000立米（りゅうべい）打設すること。

〇エン〇セン

1メートル50センチのことを、1エン50センなどと言うことがある。長さを通貨で読み替えた言い方です。（m→円、cm→銭）

266（ニーロクロク）

国道266号のことです。三桁の数字を略して読みます。

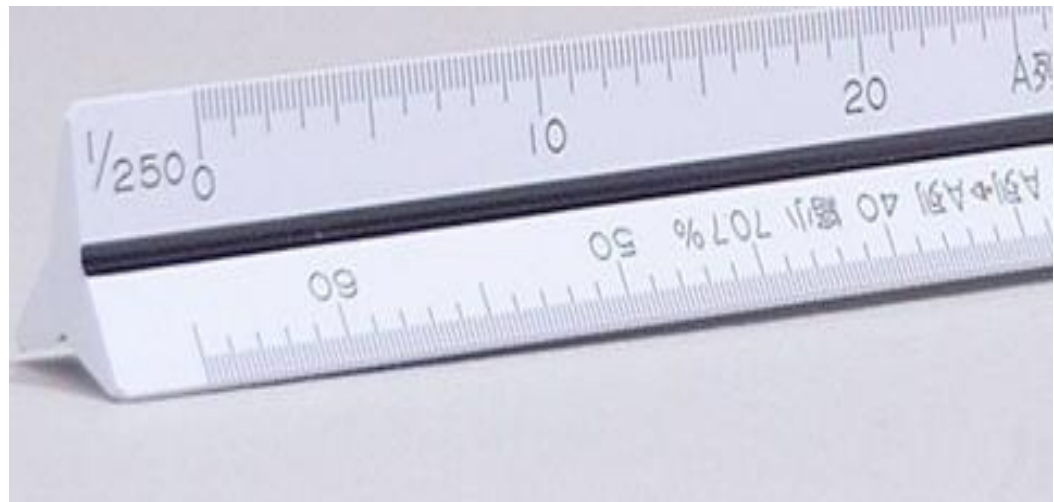
国道387号（サンパーナナ）

余談

・県道は1～99号線を主要地方道、100号線以上を一般県道と呼ぶ。

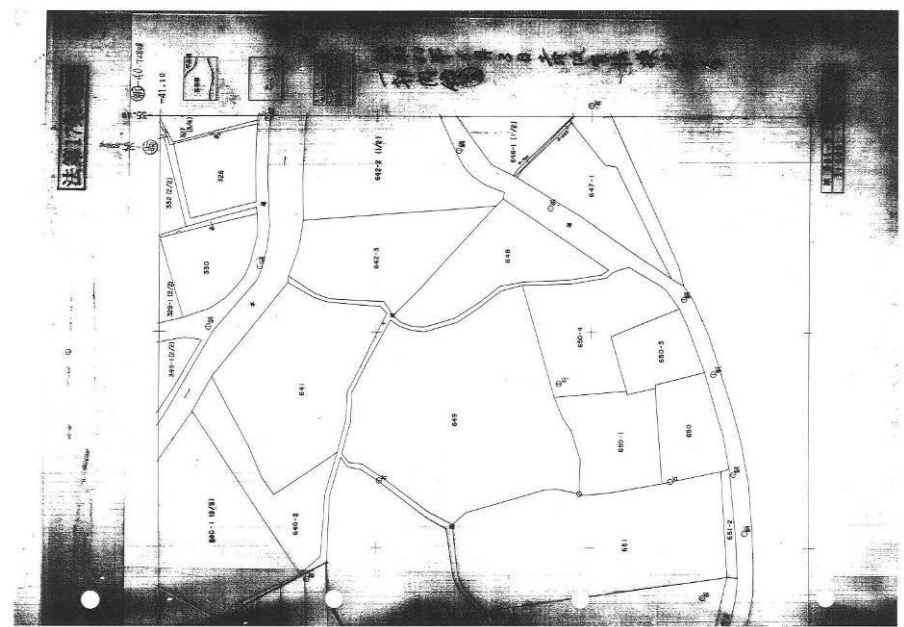
サンスケ

三角柱のそれぞれの面に縮尺の異なった目盛りが入っている定規（スケール）の事です。図面を見るときに必需品です。よく作業服の胸ポケットに刺さっています。



字図

明治6年の地租改正条例の施行により作成された「野取絵図」及び明治18年に行われた地押調査により作成された「地押調査図」の別名で、「改租図」「字限図」「字絵図」「分間図」とも呼ばれています。地図の精度については問題がありますが、現在も登記事務上、貴重な資料として活用されています。



ミルシート

鉄鋼等の資材メーカーが、規格が指定された資材を受注した場合に、その製造結果が指定された規格などの要求事項を満足している事を証明した書類のことで、一般に「ミルシート」と呼ばれています。正式には「検査証明書」と言います。尚、「検査証明書」は発注者が要求（項目も）した場合にのみ発行されます。

(F151030101)

鋼材検査証明書 INSPECTION CERTIFICATE

東京製鋼株式会社 岡山工場
TOKYO STEEL MFG. CO., LTD. OKAYAMA PLANT
〒712-8588 岡山県倉敷市岡田 1-1-1
Tel: (086) 852-7102

発行日
Date of Issue 2002. 1. 16
発行番号
Certificate No. 025162
注文書
Order No. 371 279 4 KK 13042959
特約店
Daikoku 771 279 4 KK
品名
Name H-BEAM
規格
Specification JIS G3101 S5400

受注番号
Contract No. 5H-12897
送り状番号
Invoice No. B-022129
顧客
Customer 771 279 4 KK
工事名
Project Name

寸法 Size	長さ Length	数量 Quantity				荷重 Charge No.	引張試験 Tensile Test		引張試験 Tensile Test		備考 Remarks
		本数 Pcs	重量 Weight	単位 Unit	合計 Total		引張力 Tensile Force	断面積 Cross Sectional Area	引張強さ Tensile Strength	引張伸び Elongation	
H250X125X6.0/9.0	8.0M	10	2320	kg	23200	M3-9198	336 461	316000			
H250X125X6.0/9.0	8.0M	10	2320	kg	23200	M3-9222	345 434	306000			
H250X125X6.0/9.0	9.0M	5	1305	kg	6525	M3-9205	383 476	236000			
H250X125X6.0/9.0	9.0M	15	3915	kg	58725	M3-9206	347 459	276000			
本証明書は①部②半のみを記載します。											
平成 年 月 日 株式会社 東京製鋼株式会社 営業部 山形 紀之											
品名 Charge No.	化学組成 Chemical Composition (%)				JIS規格と同等の検査結果は記載していません。その他の検査結果は記載していません。 We have only data does not have been subjected to inspection with the specification.						
	C	Si	Mn	P							
	×100	×100	×100	×100							
	50	50	50	50							
M3-9198	11.20	42.78	33								
M3-9222	8.23	53.28	40								
M3-9205	12.21	43.38	42								
M3-9206	9.23	49.37	39								



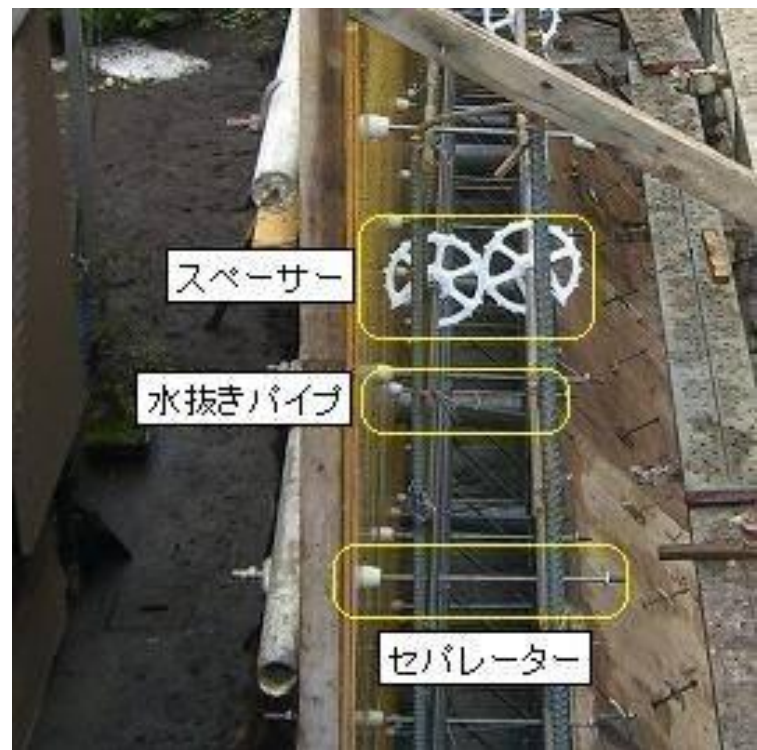
NO. 659047

Chief Inspector H. Ohmori



コンパネ

コンクリート構造物の型枠に使用する、合板ベニア板のことです。
表面がコーティングしてある物と、してない物があります。



アスカーブ

アスファルト合材で造った「縁石」のこと。



丁張、遣り方

掘削・盛土の土工事や石積みの擁壁工事などで板材（赤白に塗ってある場合もあり）を使って、仕上がり面を表示する定規類のことです。

水系（みずいと）

水系とは、掘削・盛土の土工事や石積みの擁壁工事などで、高さの水準を合わせるために張っておく糸のことです。



エラス

エラストタイトの略、擁壁やブロック積み構造物に使用する、伸縮目地材のことです。コンクリート構造物は温度等により伸び縮みするために設置することとなります。材質は瀝青質やゴム発泡体、樹脂発泡体等の色々な種類があります。



クラック

コンクリート構造物に発生する、ひびわれのことです。養生や温度管理が悪いと発生します。

先ほど説明したエラスを入れていないとこのような状態になります。



轍、轍掘れ

舗装道路の車両走行軌跡部において、道路横断方面に連続して生じている凸凹のタイヤの通過痕（溝）のことです。原因は舗装の摩耗とアスファルト舗装の流動が主なものですが、路床・路盤の沈下などによって起こります。



裏込め

擁壁の安定を高めるために、背後に砂利や割栗石を入れること。



境界杭

行政界及び官民、民民の用地境界を明示するための杭。



クラッシャーラン

原石を砕いて造った石。砕石プラントで粗砕、中砕、細砕により製造される。

リサイクルの観点から公共工事では再生クラッシャーランを使用する。



シュミットハンマー

現場において、硬化したコンクリートの強度を測定する携帯用非破壊試験機。テストハンマーとも言う。



スタッフ

水準測量で使用する標尺。箱尺とも言う。右の写真のように寸法を計測する際にも使用する。



レベル

水準測量をするための機器。
高さを計測する際はベンチマーク
（高さの基準）から計測する。



床堀

構造物の基礎を作るために、地盤を所定の深さまで掘ること。

（地盤を基準に上を掘ることを掘削。下を床堀と言う。）



根入れ

杭、基礎、擁壁などの地中に埋設した部分。地表面より地中埋設物までの深さである。



現場代理人

元請業者を代表して、請負契約履行のため現場に常駐する人。請負契約者の現場での代理人。

CBR

路床、路盤の支持力を表す指標。直径5 cmの貫入ピストンを4日間水浸養生した供試体の表面に貫入し、その貫入量における標準荷重強さに対する比を百分率で表したもので、通常貫入量2.5 mmの値である。

歩掛

作業別単価を求めるため、必要な作業員の職種、数量、材料の種類、数量、使用建設機械の運転時間などを示したもの。

呼び強度

レディミクストコンクリートのJIS分類上の呼称で、一般に生コン工場の保証強度となる。（生コンは通常、図面や設計書に記載されている強度を呼び強度として注文する。

例）21－8－25BBの場合

21が呼び強度、8がスランプ、25が粗骨材最大粒径となる。

竣工検査

工事を発注し現場が完成したら検査員に竣工検査を受けます。

竣工検査と別に担当が行う監督員確認検査というものもあります。



上記の写真のように黒板等が確認しにくい場合は左の写真のように接写を撮影します。
(2枚で1組という事が多いです)

天端（てんば）

盛土、構造物等の最頂部のこと。

リボンテープ

測量用のテープ。検査時の写真撮影等によく使用する。



ダンプトラック、（じゅうりん）



荷台の代わりに強固な容器を取り付けたトラック。容器を油圧装置で傾けることができ、積み荷を重力によって容易に滑り降ろすことができる。最も広く利用されている運搬用機械で骨材、コンクリートなどの運搬に使用される。

バックホウ、ユンボ、油圧ショベル



土砂の掘削用機械。ブームの先端に取り付けたバケットで、下方から手前にかき上げるように操作して土砂を掘削する。機械よりも低い位置の堅い地盤に適する

ブレーカー



油圧ショベルのアタッチメントとして装着され、先端に取り付けられたのみ（チゼル）を連続的に打撃し、舗装路面、コンクリート構造物、岩盤等の破碎に用いられる。

圧砕機



油圧ショベルのアタッチメントとして、油圧で開閉するハサミ状の装置を取り付けた機械。コンクリート構造物の破碎等に用いられる。

クローラクレーン、ホイールクレーン、トラッククレーン



資機材の吊り上げ、吊り下ろしに使用する機械。走行装置がクローラーのものをクローラクレーン、タイヤのものをホイールクレーンと言う。

また走行時の運転席とクレーン用の運転席が別々に設けられているものをトラッククレーン（ユニック）と呼んでいる。



ブルドーザ



クローラ式の走行装置と排土板（ドーザ）を持ち、主として、掘削、運搬を行う機械。

ローラ



締固め用機械で振動しない3輪式の鉄輪を持ったものをロードローラ（マカダムローラ）、前後輪ともゴムタイヤのものをタイヤローラという。

アスファルトフィニッシャ

アスファルト合材を敷く自走式の機械。



路面切削機

切削オーバーレイ等で舗装の表面を切削するときに用いられる。車輪式とクローラ式がある。



ハンドブレーカー



空圧または油圧の打撃機構により舗装路面やコンクリート構造物等の解体、はつり等に用いる。ピック、ピックハンマとも言う。

ランマ（タンパ）、振動コンパクタ



ランマは機体下部の打撃版に高速かつ強力な衝撃を連続的に起こさせ、自らも進行しながら地表面の締固めを行う機械。

振動コンパクタは、偏振軸を高速回転させて振動を発生させる起振機で、この振動により締固めと自走を同時に行う機械。